

平成26年度事業報告(26.4.1-27.3.31)

坂井市三国町中央 1-6-3
(特非)坂井市障害者プラン住民会議
理事長 阿古江 唯説

◇第10回障害者週間事業 平成 26 年 12 月 21 日(日) 坂井市多目的研修センター 36名参加
「思いやり～あなたにもできることがある」 講師は、敦賀市の福祉団体「ウエット」代表 下坂達夫さん。
下坂さんご自身も、脊髄小脳変性症患者で車椅子を利用している。当日は、助手として浦辻さんとコーディネーターとして県立大小林明子教授にも参加してもらった。

「ウエット」は、障害のある人たちが暮らしていくときに出会う、いろいろな不便さや困っていることを、分かりやすく一般の人に理解してもらうために「寸劇」にして披露する活動を県内各地で行っている。道端の放置自転車が、視覚障害者や車椅子利用者の進路を妨げたり、コンビニ内の棚の商品が車椅子から遠くて手が届かない様なことは日常的なことだ。みんなの少しの思いやりが、障がいのある人にとって、暮らしやすい社会に変わることを、理解し合う貴重な体験だった。後援/坂井市、(福)坂井市社会福祉協議会



◇福祉講演会 平成 26 年 6 月 1 日(日) 丸岡町 いきいきプラザ霞の郷 67 名参加
第 12 期 26 年度の定時総会時に開催。テーマは「楽しい生活・やりがいのある仕事をするために～障害者虐待防止を考える」 前半の基調講演は、毎日新聞社会部記者として、若者の引きこもり、いじめ、虐待、薬害エイズなどの現場取材し報道し続けてきて、現在は、毎日新聞論説委員の野沢和弘さん。
後半は、「パネル討論会」は、「通報＝悪いこと？ なぜ通報をためらってしまうのか」のテーマで、野沢さん、芝さん(県総合相談所)、佐藤さん(坂井市役所)、桜井さん(坂井地区虐待防止部会長)が討論。虐待防止法の施行でどう変わるか、虐待事案の現状と対応策をみんなで考える貴重な体験をした。
後援/坂井市、(福)坂井市社会福祉協議会



◇障がい者のための企業合同説明・面接会 平成 26 年 9 月 28 日（日）丸岡町 いきいきプラザ霞の郷
 131 名参加。 共催/坂井市 後援/(福)坂井市社会福祉協議会
 第一部 記念講演 講師は、(有)スターフーズ社長の中本貴久さん。「障がいのある人を雇用して」初めて
 障害者を雇用した経験談と共に歩むとの思いに感銘を受けた。
 第二部 企業合同説明会・面接会 162 名参加。参加企業・事業所 27 社。他に就労相談(ハローワーク
 三国)と生活相談(サポートセンターかすみ) 障がい者の雇用を検討している企業のブースに、就職を希
 望する障がい者や保護者・学校関係者が、次々と集まり説明に聞き入っていた。今回で 3 回目開催。



◇福祉講演会 「障がい者向けの在宅医療のあり方」 平成 26 年 10 月 26 日(日)
 坂井町 大関公民館ホール 13 名参加 後援/坂井市 (福)坂井市社会福祉協議会
 講演会 講師 「オレンジホームケアクリニック」の代表医師 紅谷浩之さん
 高齢化が進む中で、「老いても、病んでも、自分らしく過ごしたい」という願いも高まっており、在宅医療ケアは
 重要なテーマだ。「オレンジホームケアクリニック」は、福井市を中心に、平成 23 年から在宅医療専門のチ
 ームとして活動していて、今回は障がいのある方の医療と福祉の連携についての提言を聞いた。



◇ピア・カウンセリング、ピア・サークル 24 年から、相談事業の一環としてピア事業を開始した。26 年度の
 開催は、ピア・カウンセリング 10 回、ピア・ミーティング 2 回、ピア・サークル 2 回で、参加は 79 人(延)。在宅
 者からの新規相談が 7 件であった。今年から三国地区を中心に計画されている「ひきこもり」対策の支援策
 の一つとして、ひきこもりピアサポートを検討している。 [本年度実施詳細は別紙]

◇障害年金相談会 平成 23 年に、福祉講演会として「障害年金説明会」を開催し、80 名近い方が集まっ
 た。障害者の自立支援のための重要なテーマで、関心も高いと思われる。
 今年度は、10 月に 2 回総合的な説明会を開催し、さらに 2 月と 3 月に、個別
 の相談会を開催した。個別相談会の結果、2 名が請求手続きへと進む。
 総合的な説明会 10 月 5 日 10 月 18 日 参加者合計 23 名
 個別相談会 2 月 28 日 4 名 3 月 28 日 5 名



◇坂井市障がい者雇用ネットワークセンター事業 坂井市委託事業として、平成 22 年 5 月の開始から、5 年を経過した。通算で104件の障がい者の就労支援に携わったが、就労継続や再チャレンジ支援等の、より木目の細かい対応が更に求められている。メンバーも 2 人が交代し、今年は、在宅障害者の就労相談の拡充及び農業分野への就労支援もテーマとして取り組む計画である。〔詳細は別紙〕

◇在宅ワーク事業 平成 24 年 9 月から、在宅障害者や再チャレンジャーの就労への実習的訓練の場としてスタートし、今までに5名が就労した。現在は、利用者が少なくなり、休業状態が続いている。A型事業所の実際行っている作業を提供しており、作業能力や適応力の見極めが可能である。今年度より、三国地区民生・児童委員会が計画している「ひきこもり対策」事業の受け皿の一つとしての支援策を検討している。



◇総会・理事会

総会 第 12 期定期総会を、平成 26 年 6 月 1 日午前 10 時 30 分より、丸岡町いきいきプラザ霞の郷会議室で開催した。25 年度各報告や 26 年度各計画について審議した。

理事会 第 75 回理事会を 5 月 15 日に、第 76 回理事会を 9 月 5 日に、第 77 回理事会を 11 月 7 日に、第 78 回理事会を 27 年 2 月 6 日にそれぞれ開催し、事業の進捗状況を審議した。その他関係事業所等の情報の交換を行った。

